

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力
ペンジケント市中央病院外科医療機材整備計画
供与式報告

平成26年9月27日、「ペンジケント市中央病院外科医療機材整備計画」の供与式を行い、石川書記官が出席しました。タジキスタン北部のソグド州西部に位置するペンジケント市は、人口25万人以上を擁するタジキスタン第5の地方都市です。

本計画支援対象のペンジケント市中央病院外科は、市の中心的な医療施設として重要度は高いものの、医療機材はソ連時代に整備されたもので、経年劣化が著しい状態でした。テープなどで応急処置を施した機材や錆がある機材もあり、医療機材の刷新が急務となっていました。

本計画では、内視鏡セット、人工呼吸器、手術台や手術用医療ランプなどの医療機材を整備しました。これにより、ペンジケント市及び近郊に在住する人々が、他病院への長距離移動を強いられることなく、安全で衛生的な外科治療を受けられるようになりました。



供与式でのテープカット。中央は石川書記官、右はハビビ・ペンジケント市副市長。



内視鏡セットが新規に整備されたことにより、今まで施せなかった手術も可能となりました。



刷新された医療機材が整備された手術室の様子。



刷新された手術台にも日本の支援を示すODAステッカーが貼付されています。